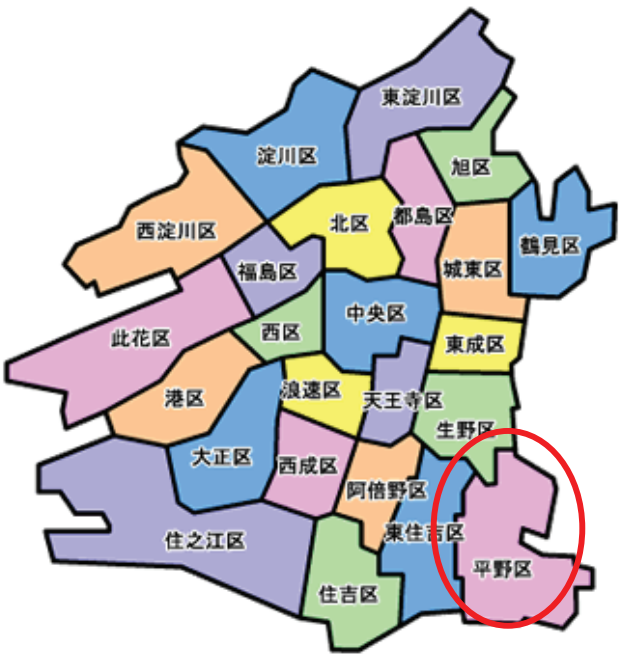


# ACPの実践に向けて

平野区在宅医療・介護連携の取組み  
(平野区在宅医療ケアネットワーク委員会)

1

## 区の概況



- 人口185,272人 (R6.12月1日現在)  
(65歳以上人口 54,522人)  
高齢化率 29.4%  
(大阪市推計人口より)
- 病院数 10か所
- 一般診療所 198か所  
(在宅療養支援診療所 66か所)
- 平野、喜連、瓜破、長吉、加美の5圏域
- 地域包括支援センター・ブランチ 11か所
- 訪問看護事業所 58か所
- 居宅介護支援事業所 99か所
- 訪問介護事業所 185か所

# 在宅医療ケアネットワーク委員会

## 目的

平野区における在宅医療と介護の連携を推進するため、地域の課題を抽出しその対応策を検討すること等を目的として設置。



## めざすべき姿

「平野区民が疾病を抱え、医療と介護の両方を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる」

3

# 在宅医療ケアネットワーク委員会 メンバー



# テーマに対する背景・課題・取組みのきっかけ

令和2～4年度

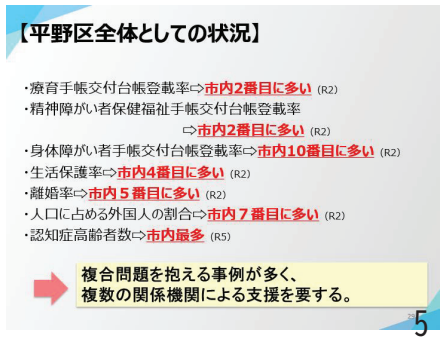
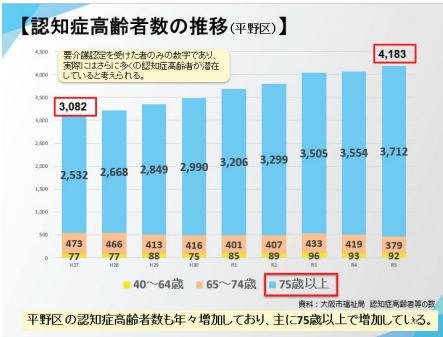
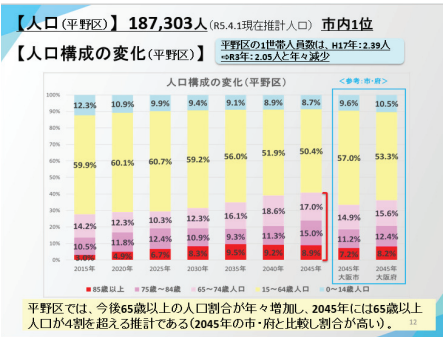
コロナ禍で在宅医療・介護連携の取り組みが休止

令和5年度

委員会のメンバー・事務局の多数が交代

委員会の方針確認  
メンバーの意識統一が必要

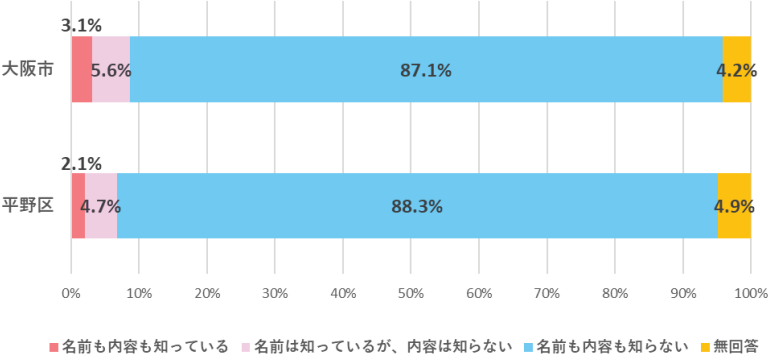
## 過去の課題、成果のふりかえり 平野区健康データをメンバーで共有



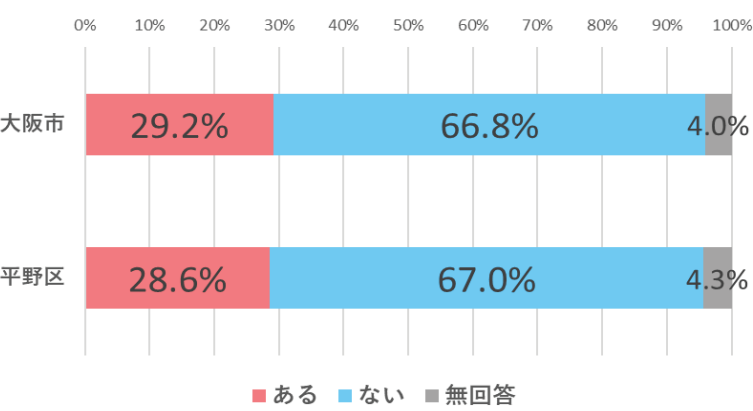
5

# ACP認知度・最終段階の話し合い

## 人生会議 (ACP) の認知度



## 人生の最終段階においての話し合いの有無



(出典) 令和4年度高齢者実態調査

市・区ともに  
「名前も内容も知らない」が9割、  
約3割が話し合いを行っている。

平野区は大阪市よりも認知度が低く  
話し合いをしている割合も少ない。

メンバーから  
「区民が知らないのに  
“死ぬこと”について  
提案しにくい」と意見

【優先順位】

- ①区民向けキックオフ講演会
- ②専門職向け研修
- ③ACP広報媒体作成
- ④区民向け啓発

6

# 令和5年度 取組み内容

令和5年3月21日（木）区民向け講座

ACP「人生会議～私らしく生きるために～」開催



## 【内容】

- 委員会の医師による講演  
府のパフレットで実際に作成
- 住友直子監督とお父さんの  
「人生会議やってみた」上映

参加者 約100名

## 【感想】

- ・ACP、初めて知った。  
参考になった。
- ・もっとACPを周知してほしい。
- ・在宅医療について講演してほしい。



ACPが区政会議でも話題に 7

# 令和6年度 取組み内容

## 【メンバーからの意見】

- ①大きな講演会でなく、もっと身近な場所（圏域）でACP講座を開催できないか？  
専門職向けに、ACPの多職種研修を実施したい。
- ②区民を対象にACPの配付物を作成していきたい。  
平野区ホームページに、医療機関（医科・歯科・薬局）・介護保険事業者の案内ページを作成できないか？

ACP部会

広報部会

並行して、メンバーが所属する機関でもACPの啓発に取り組む

# 各機関でのACP啓発

## ●長吉圏域専門職向け研修会

対象：専門職

内容：ACPの進め方、困った事例の共有・相談

医師や他職種との勉強会は、大変参考になった

## ●地域包括支援センターと連携した研修会

対象：圏域内の地域福祉活動コーディネーター（※）

老人クラブ・家族介護教室参加者 等

内容：ACPの講演、もしバナゲーム

他の方の意見や感想を聞いて自分も生き方を考えないといけないと思った

## ●民生委員協議会と連携した勉強会

対象：地域の民生委員

内容：ACPの講演

## ●ひらの百歳☆きらめき講座

対象：地域の百歳体操参加者とサポーター

内容：訪問看護師による終活とACPの方法

口頭だけでなく記載して、見直すことが大切だとわかった

### （※）地域福祉活動コーディネーター

困りごとの相談や支援の必要な人への見守り体制を築くために、地域のアンテナ役、パイプ役（つなぎ役）として、各種団体や専門職、ボランティアと連携して、地域福祉活動の推進を図る。

9

## 民生委員・地域福祉活動コーディネーターへの研修

### 対象

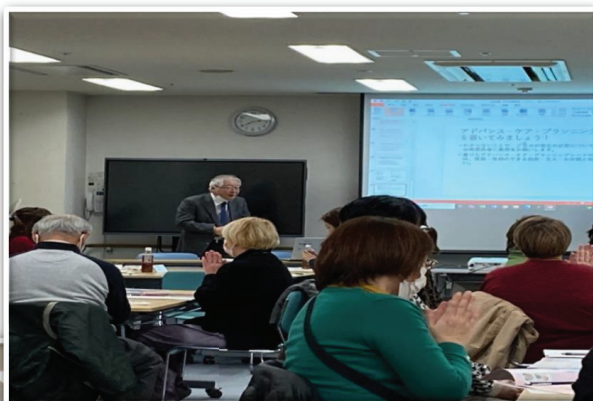
平野圏域の民生委員

区内全地域の

地域福祉活動コーディネーター

### 内容

- ・医師によるACPの講義
- ・対応に困った事例  
うまくいった事例  
情報共有・意見交換



# 喜連東地域民生委員協議会勉強会

## 対象

喜連東地域の民生委員

## 内容

ACPの知識・記録を記入



11

# ひらの百歳☆きらめき講座

訪問看護ステーション  
「終活を考える」



あなたが今、最も  
大切にしている  
ことは何ですか？

あなたの思いも  
家族の思いも  
大切にするために  
話し合い、記録して  
おきましょう

※ひらの百歳☆きらめき講座

百歳体操の会場に、企業や  
大学、関係機関が出向き、  
各々が企画した講座を  
15～30分で実施。  
33機関から78講座提供。

看取りの経験が豊富な  
訪問看護師さんが  
終活と人生会議を  
わかりやすく伝える



12

# その他の取り組み

## ●平野区病院連絡会

対象：平野区内の病院の相談員

内容：顔の見える関係づくり、情報交換

## ●近隣区の病院との連携

対象：他区在宅医療介護連携コーディネーター

内容：救急対応やレスパイト入院の可否  
各病院の特徴の情報共有

## ●全興寺まちの保健室との連携

対象：地域住民（乳幼児から高齢者、外国人まで）

主催：クリニックのケアマネ、医師、薬剤師、訪問看護師

協力：平野区保健福祉センター保健師

地域包括支援センター、生活支援コーディネーター

全興寺住職、企業、在宅医療介護連携相談室 他

後援：大阪府看護協会

内容：身長・体重、血圧・体脂肪、血管年齢測定

医師・薬剤師・ケアマネ・包括・保健師による医療介護育児相談



13

# 今後の活動計画

## 平野区の強み

- ・委員会には、医師や包括や介護保険事業者連絡会等の代表が出席  
積極的に企画運営を担当 ➡ 2つの部会体制  
経験豊富 ➡ 行政やコーディネーターへのスーパーバイズ
- ・地域活動が活発  
地活協や地区社協、自治会活動を地域が主体的に運営  
➡ 啓発やイベント開催への協力

## 課題

- ・市の割合を上回る、急激な少子・高齢化
- ・市営住宅等に高齢者、障がい者、生活困窮者等の独居者多数

2040年問題（働く世代・医療・介護人材の減少）は迫っている。  
平野区に居住する高齢者が、住み慣れた地域で、最後まで自立して  
生活できるよう、ACPや医療介護体制の構築を急がなければならない。  
平野区の取り組みは再開したばかり。  
強みを活かして、今できることを前向きに進めていく。

14

ご清聴ありがとうございました